



かぐや姫 優雅に 観客を魅了 ～第24回たけはら竹まつり～

5月3～4日、町並み保存地区一帯で、たけはら竹まつりが開催されました。市内外から大勢の人が集い、かぐや姫パレードや笹酒の振舞、竹楽器作りなど、見て楽しむ・体験して楽しむ行事が各会場で行われました。

雅楽演奏とともに、かぐや姫と子どもかぐや姫が登場すると、すかさずカメラのシャッターを切る姿があちこちで見られました。宮崎県から来た春永恵子さんは、「こんなにすばらしい町並みで、パレードを見ることができて良かったです。いつまでも、このきれいな町並みを保存してほしい。」と、初めて竹原を訪れた感想を話してくれました。

お手製の竹楽器で仲良く遊んでいたのは、岡野美羽さん（竹原小学校3年）と岡野丈司くん（竹原小学校1年）。

「竹で楽器を作ったのは初めて。自分で作れて嬉しい！」

と、姉弟そろって、とびきりの笑顔。修景広場は、竹原3銘柄の笹酒をのんびりと楽しむ人でにぎわいました。「これが毎年楽しみなよ」と、みなさんほんのりと赤い、良い表情。

今年もたけはら竹まつりの笑顔に包まれた、たけはら竹まつり。竹原の魅力あふれる2日間となりました。



5月13日、マツダスタジアムでの中日ドラゴンズ戦で、竹原市のPRが行われました。小坂市長をはじめ、竹原市観光協会、竹原市竹芸振興協会、市職員など市民有志約100人が参加。大型ビジョンを使ったPR、「道の駅たけはら」の出張販売、純米吟醸たけはら焼・峠下牛の網焼き・たこ飯の販売など、カープを応援するとともに、竹原の魅力や旬な情報を発信しました。

竹原の旬を発信！

竹原市PR隊 in マツダスタジアム

「細かいねえ。すごい！」と、展示品に目を向ける人の姿が多く見られました。着ぐるみかぐや姫やパンダは、子どもたちをはじめ、大人にも大人気。「可愛い」と、あちらこちらで写真を撮ってもらっていました。物販ブースに立ち寄ってくれた来場者からは、「今度行ってみるね。」と、声をかけてもらいました。たけはら焼や峠下牛、たこ飯の売れ行きも好調でした。

今回のマツダスタジアムでのPRは、9月16日に行う予定です。今後も、竹原の魅力を知ってもらうため、PR活動は続きます。

地域の力を合わせて 公園に砂場が完成

5月12日、忠海中町の内堀公園で、砂場作りが行われました。地域のみなさん約20人が集まり、約2メートル四方の地面を、力を合わせて掘り起こしました。この日は炎天下でしたが、笑顔で作業されるみなさんがとても印象的でした。



魅力がいっぱい 仁賀小まつり

5月13日、仁賀小学校で、仁賀小まつりが開催されました。ニジマス釣り・つかみ取りや、学校見学、和太鼓演奏など、盛りだくさんの内容で、会場はにぎわいました。児童の力強い和太鼓演奏には、多くの観客が魅了されました。



発電所をより身近に

5月20日、たけはら火力発電所の1日開放デーが開催されました。普段見ることのできない発電所の見学では、多くの参加者が真剣なまなざしで説明を聞いていました。来場者にとって、発電所をより身近に感じた1日となりました。



悪質商法について学ぶ

5月22日、勤労青少年ホームで、消費者月間講演会が行われました。

講演会には、約70人が参加。劇団「えいじやん」広島のみなさんが、ユーモアを交えた劇を通して、悪質商法の実態や悪質業者の撃退法について講演しました。



自転車のマナー向上を目指して

5月23日、賀茂川中学校で、自転車マナーアップ実践モデル校の指定式が行われました。自転車マナーアップ実践モデル校の指定は、県内の市立中学校の中では初めて。賀茂川中学校は、全校生徒116人のうち、104人が自転車を利用して通学しています。

指定式では、生徒を代表して生徒会長の内真さんが、竹原警察署交通課の高橋課長から指定書を受け取りました。自転車に乗るときの正しい交通マナーや、駐輪時の鍵かけなどを実践し、交通事故や盗難の防止につなげます。



楽しく踊って 思いっきり走って

5月27日、市内小学校8校で、運動会が開催されました。

雲一つない晴天の下、竹原西小学校では、全校児童約330人が、全23種目の演技を披露しました。各学年別に行われた徒競走では、家族や地域の人々の大きな声援を受けながら、ゴールを目指して全力で走る児童の姿が印象的でした。

また、ダンスや組体操では、日々の練習の成果が発揮され、ぴったりと息の合った演技に、会場からは大きな拍手が送られました。